

■前回の審議会(H31.11.5)後の庁内意見照会により修正した箇所

※パブリックコメント実施(案)には反映しています。

No.	ページ	番号	旧	新	備考
1	P14	(3)	各種情報提供時の多言語化を推進します。	削除	各種情報提供時の様々な国籍に対する多言語化対応が困難であるため
2	P17	(2)	地域づくり活動及び市民活動を総合的に支援します。	協働による地域課題解決に取り組みます。	中間支援機能は、今まで解決できなかった地域課題を住民・自治会等・地協、NPO、企業等・行政が協働して、新たな発想や感性により解決に取り組めるようそのつなぎ役機能との趣旨をふまえ修正
3	P25他	(1)	全ての小中学校	全ての小中学校及び義務教育学校	義務教育学校開校による追加(他ページ同様)
4	P26	(2)	ふるさとに誇りを持ち、みずから進んで発信し、進んでコミュニケーションがとれる児童生徒を育成するため、小学校から中学校までの9年間を見通した英語教育を実施～	進んでコミュニケーションを取り、多様な価値観や異なる文化への理解を深め、グローバル社会をたくましく生きる児童生徒を育成するために、(中略)英語教育を実施～	英語教育推進の背景を修正
5	P31	(2)	道徳教育全体計画及び年間指導計画を全小中学校で作成するとともに、地域と連携するなかで、学んだことを生かして行動できる道徳的实践力を高めます。	「 <b>特別の教科</b> 」である道徳科の中で、「 <b>考え、議論する</b> 」道徳の推進を図ります。自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己としての生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。	道徳の教科化をふまえ修正
6		(3)	道徳教育の全体計画及び年間指導計画を全小中学校で作成し、道徳の授業研究を進めます。	授業の中で児童生徒が考えを深めることができるように、 <b>道徳科の授業研究</b> を進めます。	道徳の教科化をふまえ修正
7	P50	(4)	地域子育て支援センターを運営し、子育て世帯の交流の場の提供や交流の促進、地域の子育て情報の提供、子育て中の保護者のリフレッシュのため託児事業を実施	地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため地域子育て支援センターを運営し、 <b>子育て等に関する相談</b> や子育て世帯の交流の場の提供・交流の促進、子育て中の保護者のリフレッシュのため託児事業を実施	運営の事業のメニューの中に主事業である相談業務を追加
8	P53	(5)	—	子育て応援アプリ ながまるキッズのインストール数	指標として追加
9	P55	(3)	保護者の就労状況及びその変化等にも柔軟に対応して子どもを受け入れることができ、子育て支援の中核を担う認定こども園の設置を促進します。	家庭における保育が困難となる児童に対し、一定期間の <b>預かり保育を実施</b> するなど、子育て家庭の保育支援を行います。	待機児童対策の一つとして修正
10	P63	(5)	地域密着型サービス提供施設	介護保険サービス給付費 介護保険サービス地域支援事業費	目標数値について、整備完了のため入替
11	P79	(4)	みんなで一緒にながはま健康ウォーク事業	健康推進アプリ「BIWA TEKU」事業	より身近で手軽に健康づくりの取組を推進するものとして修正
12	P95	(2)	小谷城スマートIC周辺を長浜の「新しい農業」を創造するプロジェクトのシンボルとなる拠点に位置付けて、産学官金が連携して「持続可能なアグリビジネス」を展開します。	京阪神や東海、北陸の結節点である交通の利便性を活用し、小谷城スマートIC周辺に地域の基幹産業である「農業」を主体とした、アグリビジネス拠点を整備します。多くの企業を呼び込み、農産物の生産から加工、販売、更には観光という「サプライチェーン」を確立し、進出企業間のコラボや来訪者との交流が生まれる、長浜市独自の全く新しいアグリビジネスの産業集積地を創ります。小谷城スマートIC周辺で、有能なアグリビジネス人材を育て、長浜市産の農産物の供給量を増やします。	企業間のコラボや来訪者との交流、人材育成など具体的な取り組みを追加
13	P99	(4)	—	歴史文化施設の再編	歴史文化基本構想に基づく取組として追加
14	P101	(3)	—	第2期長浜市歴史的風致維持向上計画を策定し、第1期計画の重点区域のみならず、新たな重点区域を設定し、地域固有の歴史的風致にさらに磨きをかけた歴史まちづくりを進めます。	新たな取組として追加
15		(4)	—	第2期長浜市歴史的風致維持向上計画の策定	新たな取組として追加
16	P106	(5)	関係人口登録者数	東京ー長浜リレーションズ登録者数	具体的な指標として修正
17	P107	(3)	観光ガイドブック・パンフレットの作成やホームページ等の多様な情報媒体の活用などによる観光情報発信の強化、さらに観光案内所の機能強化や案内標識の整備などによる市内観光案内の充実を図ります。	地域資源を観光資源として、より価値を高めるため、 <b>テーマやストーリーを重視した長浜らしい観光商品の開発</b> を支援します。	観光振興ビジョンに基づく内容に修正
18	P114	(3)	危機管理体制の強化に向けて、災害対策本部単体での訓練ではなく、他の組織や市民団体との連携を図ることにより、実践を伴った形での対応訓練を実施します。	危機管理体制の強化に向けて、災害対策本部単体での訓練ではなく、他の組織や市民団体との連携を図ることにより、 <b>自助・共助の意識向上に重点を置いた</b> 実践を伴った形での対応訓練を実施します。	自助・共助の意識向上に重点を置く旨を追加
19	P148	2(1)	今後においてもさらに連携を深めることで、各自治体が抱える共通の課題に連携して取り組み、地域の可能性を引き出していくことが求められます。	今後においては、人口減少社会における <b>基礎自治体としての機能を再検討</b> し、各自治体が抱える共通の課題に連携して取り組むなど、 <b>持続可能な地域経営</b> が求められます。	人口減少社会における基礎自治体のあり方に修正